



宇久中学校だより 海原

ふるさとを愛し 主体的に学習し自らの判断で正しく行動できる生徒の育成

令和8年2月12日(木)
第22号
佐世保市立宇久中学校
校長 永山 幹人



宇久中学校HPは
上の二次元バーコードから

意外と知らない？学校の「朝の活動」をご紹介します

右の表は宇久中学校の通常日の朝の時間の過ごし方です。ここで気になるのは、8時5分から8時20分までの15分間設定されている「朝の活動」です。今回の学校だよりではこの「朝の活動」略して「朝活」で、子供たちや先生は何をしているか紹介したいと思います。

時間	取組
～8:05	教室に入る
8:05～8:20	朝の活動
8:20～8:30	朝の会
8:35～	1時間目開始

朝活の内容は曜日ごとに違うんです。

毎朝15分間設定されている「朝活」。以前は読書をメインに行って、「落ち着いた一日の始まり」時間でしたが、現在の宇久中学校はこれに「生徒の学力を伸ばす」という思いも加わっているいろいろな活動を行っています。右の表は曜日毎の「生徒と先生方の活動」をまとめたものです。それぞれの活動を説明します。

曜日	生徒の活動	先生は？
月・水	読書タイム	職員朝会・生徒情報交換
火・金	朝自習	生徒とともに活動
木	RST	生徒とともに活動

月曜・水曜は読書タイム

月曜、水曜の生徒の朝活は読書タイムです。

生徒が読んでいるのは、図書室で借りたり、自分で家から持ってきたりした自分の興味がある本です。本の内容は「どんなジャンルの本を読んでもよい」と指導しています。しかし、「続きが気になりすぎる本」や「難しすぎる本」は、かえって心が落ち着かなかったり、眠くなったりするので避けるように伝えています。

気になるのはこの時間の先生方の活動です。まず週の始まり月曜日は「職員朝会」に参加します。その週にある行事や出張等のスケジュール、時間割等の確認を行います。

そして、私がとても大切だと思っているのが、水曜日の「生徒情報交換」です。先生方全員が観察した、登校時、授業中、休み時間、放課後の気になる様子を全教職員で共有します。共有する内容はPC上のデータに入力しておいて、教職員全員がみることができるようしておきます。

この時間のおかげで、いろいろな問題に対して「教職員全員で、素早く」対応できているため、学校にはなくてはならない時間です。



本の世界に没入中



読解力育成と心の平穩を



ボランティアさんによる
読み聞かせも大切な時間です

火曜・金曜は朝自習タイム

火曜・金曜は朝自習タイムです。

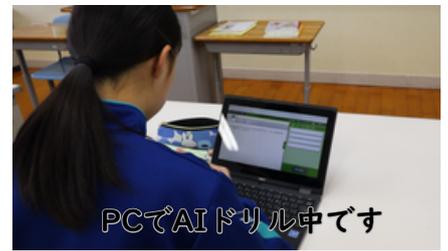
朝自習で学習する内容は自由です。その日の授業の予習をしたり、苦手教科の復習をしたり、テストに向けて学習したり、一人一人違う内容に取り組んでいます。

ここまではこれまで行われていた朝自習と同じなのですが、以前との違いは「PCを使って行う」生徒が増えたことです。表計算ソフトやホワイトボードソフト、AIドリルなど、授業の中でもPCを使う機会が多くなり、「PCを使わない授業のほうが珍しい」と思うほどです。授業が変われば朝自習も変わる！先生方から出された宿題をPCから提出したり、AIドリルで苦手な問題を復習したりと上手にPCを使っています。

以前は毎日行っていた「職員朝会」を週1回にした為、先生方も生徒の朝自習につけるようになりました。このため、わからないところを先生方に質問することができ、朝自習の時間をより有効に活用できるようになりました。



社会の授業に備えて予習中



PCでAIドリル中です



先生がいるので
つまづきをその場で解消

木曜はRST（リーディング・スキル・トレーニング）

木曜日はRST（リーディング・スキル・トレーニング）。

「リーディング・スキル」は日本語で「読解力」。つまり、RSTは、すべての学びの基礎である「読解力」を高めるための訓練の時間です。

教材として使っているのは「新聞の一面コラム」です。生徒に配られたプリントには、一日分のコラムと、その内容に関する問いが印刷されています。15分という限られた時間の中で、コラムの内容を読み取り、質問に答えたり、内容を要約したりすることで「読解力」を高めていきます。

職員朝会がないので、先生方はこの時間も子供と一緒にいることができます。まだまだ読解力が高まっていない生徒にとって「一面コラム」はちょっと難敵です。読み取りが不十分だったり、答え方を悩んでいたりする生徒がいた場合、「問題の答え」ではなく、答えに近づくためのヒントやアドバイスを伝えます。

週1回、わずか15分の取組ですが、1年間（30回）で7時間半、3年間では22時間半と、かなりの時間を生み出すことができます。



コラムを読み解く真剣なまなざし



表などの資料からわかることを
書く日もあります。



文章の要約はかなり
レベルが高いスキルです。

「朝活」で生徒が変わる！ 学校が変わる！

かつての「静かに待つ朝」は、今、生徒の主体性と教員の伴走による「学びの時間」へと進化しました。ICTによる業務の効率化で生まれた時間は、そのまま「生徒と向き合う時間」へと還元されています。先生に見守られながら個別の課題に挑み、RSTで一生モノの読解力を磨く。この朝のわずか15分間の積み重ねが、生徒の自信を育み、学校全体に活気を与えています。今後も宇久中学校では、朝の活動をより充実させて、将来の宇久を支える人材を育成していきます。